



『ことば』は財産 ～言語環境の整備～

校長 市橋 英雄

晴天の中、実施された第43回の運動会。保護者、地域の皆様には朝早くから応援に駆けつけていただき、大変感謝しております。またPTA活動としては、会場準備、席取り対応、当日の朝の準備、運動会運営のお手伝い、後片付け等々と、たくさん協力していただきました。「学校だけの行事ではない。」という思いを強くするとともに、心より「ありがとうございました。」という言葉をお伝えたいと思います。

さて、今月は「ことば」についてお話していきたいと思います。

「先生トイレ。」

「先生はトイレではありません。」

これは低学年の教室でよく見られる光景です。

「単語だけで語る子ども」が多くなったと言われ、すでに20年以上が過ぎました。



この間、バラエティ番組が隆盛を極め、会話のリズム・テンポはどんどん速くなりました。輪をかけるようにSNSやLINE、略語等の普及。短文が好まれ、ことばの単純化がどんどん進んだような気がします。

しかし私たちは、あまり不便を感じません。それは私たちの生活に適応する形で「ことば」が姿を変えていったためだと考えられるからです。

「じゃあ、このままでよいだろう」という話になってしまいます。

何か困ることはあるのでしょうか？

大きくは次の3点が考えられます。

- ①語彙力の広がり の 限定
- ②日常コミュニケーションでの行き違い
- ③論理的な思考力の未形成



「ことばの単純化」は、自分の考えを的確・効果的に相手に伝えることをできなくさせます。たとえばテスト一つにしても、学習内容はしっかりと理解しているのに相手に伝わる表現で解答を書くことができず、点数の伸びが見られないお子さんもいます。理解とアウトプットは必ずしも同じ仕組みではないのです。

「さあ改善策は？」となると、＜言語環境の見直し＞しか手だてが見つかりません。ご家庭での会話が単語になってはいないでしょうか。日常の「ことば」の選び方、使い方一つで、子どもたちの姿は劇的に変わるかもしれません。

また、言語環境の中には読書習慣も含まれます。日常で触れることのない「ことば」や文章、表現を経験することは、読書によって補完できます。ただし、いきなり「本を読みなさい」というのは無理があります。低学年の子には「読み聞かせ」が効果的です。また高学年では趣味・趣向に合わせた簡単な本を多読することをお勧めします。(西小では今年度から読書環境の整備に取り掛かり充実をめざします。)

「ことば」は親から受け継がれるもの。それは、子どもたちに残してあげられる大切な財産ではないでしょうか。

ボランティア募集！ 水泳学習 夏休み学習会

7月から水泳学習が始まります。事故のないよう万全の注意を払って指導します。ご家庭では、お子さんの健康管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。

また、西小では、夏休み中に、3～6年生を対象にした学習会（確かめようDAY）を行います。

「水泳学習」も「確かめようDAY」も保護者のボランティアを募集中です。詳しくは、別に配付したプリントをご覧ください。直接学校までお問い合わせください。ご協力お待ちしております。

<西小っ子の活躍>

☆小樽後志小学生陸上競技記録会

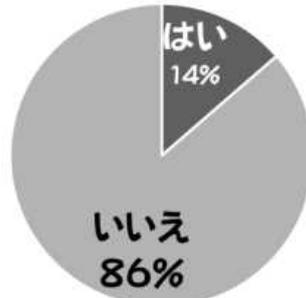
(小樽手宮競技場) 6月16日(日)

男子100m	5年	□□□□	6位	15秒83
男子Jボール投げ				
4年	□□□□	2位	31m08	
5年	□□□□	2位	37m94	
男子80mハードル				
5年	□□□□	2位	15秒60	
男子800m				
3年	□□□□	6位	3分12秒37	
4年	□□□□	6位	3分06秒90	
男子4×100mリレー				
4年	□□□□	□□□□	他2名	1位 1分05秒04
5年	□□□□	□□□□	他2名	2位 1分02秒25
6年	□□□□		他3名	4位 1分01秒46
女子4×100mリレー				
5年	□□□□	他3名	2位	1分04秒29
6年	□□□□	他3名	2位	1分01秒04
男女混合4×100mリレー				
6年	□□□□	他3名	1位	56秒94



令和元年度第1回「いじめ・悩みアンケート」結果

4月から今までで嫌な思いをしたことがありますか？

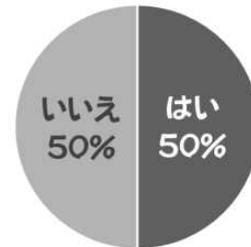


どんなことをされましたか？



全児童の14%が嫌な思いをしたと答えています。

今も嫌な思いをしていますか？

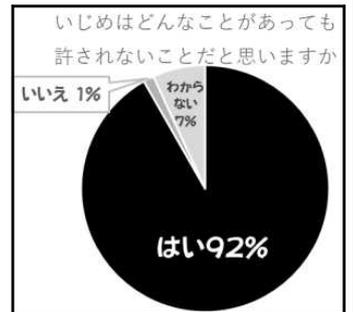


嫌な思いをした児童については、状況の聞き取り、関係児童への指導、また本人の気持ちを十分に聞き、共感的に受け止め、心の安定を図っています。どんなささいなことでも、担任に相談

できる関係づくりに努めます。

また、担任からの日常的な指導に併せ、「考え、議論させる」活動を通じて「嫌なことをされる側の気持ちの理解」「からかい行為の是非」等を子どもたち自身が判断できるようにしていきます。

ご家庭においても「人を思いやる心」「相手の立場に立っての判断」「許されない行為」等についてしっかり話し合ってください。お気づきのことやご相談がございましたら学校までご連絡ください。

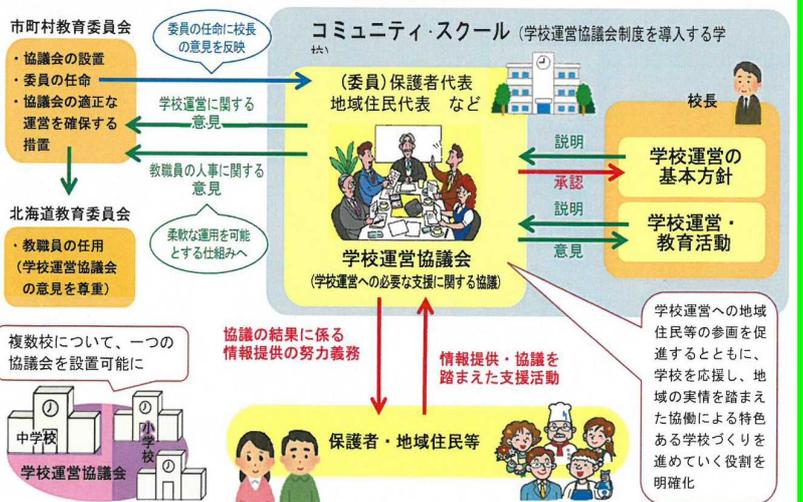


コミュニティ・スクール (CS) スタート!

コミュニティ・スクール (CS) とは「学校運営協議会」を設置した学校のことをいいます。

岩内町では、小中連携教育の推進、学校間連携の促進、中学校区を中心とした学校と地域の連携の充実を図るため、中学校区で学校運営協議会を設置します。西小・二中で協議会を発足します。学校運営協議会は、学校運営に保護者や地域住民が参画することができる仕組みです。学校と地域が更に連携・協働できるコミュニティ・スクール (CS) を推進していきます。

西小・二中の西地区の第1回学校運営協議会を7月に行います。CSについては、随時お知らせしていきます。



学校HP「西校ダイアリー」にて、日々の教育活動をアップしています。岩内西小学校 検索